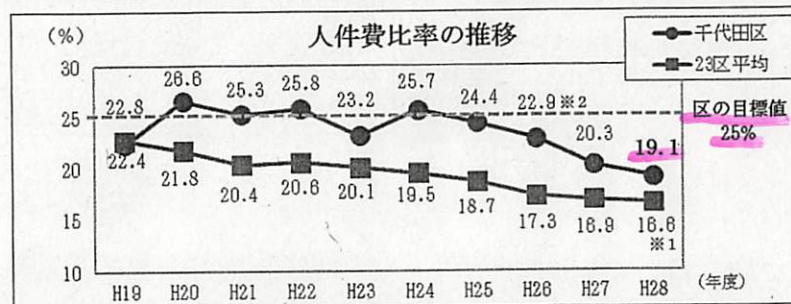
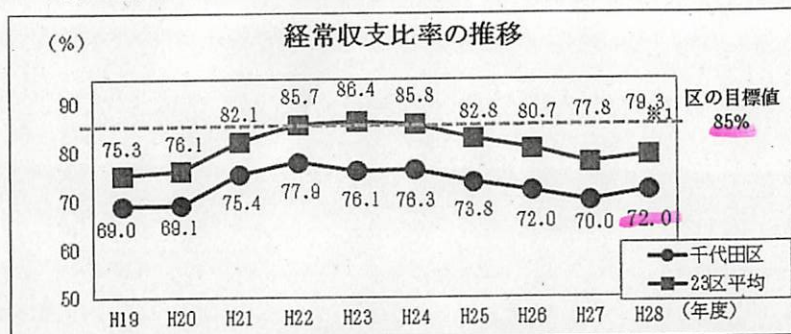


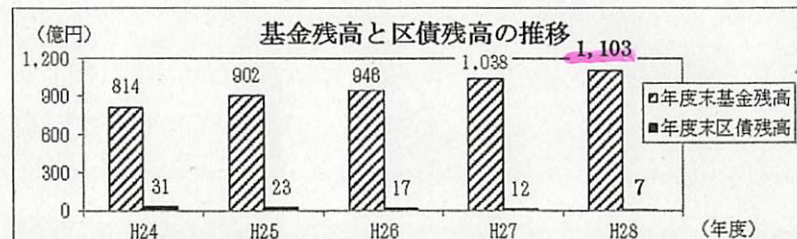
## 財政指標で見る区の財政状況

千代田区は、質の高い行政サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、平成14年3月に「千代田区行財政改革に関する基本条例」を制定しています。この条例では、全国にも例のない、経常収支比率85%程度、人件費比率25%程度という財政指標の具体的な数値目標を設定しています。区は、この条例の目標を達するため内部努力を徹底しており、平成28年度決算においても、この2つの目標を達成することができました。



※1 経常収支比率（経常的な収入が経常的な費用にどれくらい使われているかを示す指標）および人件費比率（歳出総額に占める人件費の割合を示す指標）は、普通会計決算によります。また、平成28年度決算の23区平均の数値は速報値によるため、今後変動することがあります。  
 ※2 基金の再編による影響額（28,698百万円）を除いて計算しています。

次代を担う世代に負担を課さないよう、平成12年度以降新規の区債の発行を行わず、毎年の償還により、区債残高は着実に減少しています。一方で、基金は一般家庭での「貯金」にあたるもので、平成28年度末時点で約1,103億円です。



※基金残高は、出納整理期間後の残高です。

### 各年度末の基金残高

(単位：百万円)

基金の名称	平成27年度	平成28年度
財政調整基金	37,837	40,888
コミュニティ活性化基金	1,506	1,508
社会資本等整備基金	36,110	39,857
【内訳】		
一般分	25,108	28,513
開発協力金分	1,098	1,131
災害対策基金	5,005	5,008
高齢者福祉基金	8,436	8,309
環境対策基金	7,002	6,964
子ども・子育て支援事業基金	7,583	7,415
地域福祉支援基金	265	262
介護給付費準備基金	101	101
合 計	103,844	110,311

※表示単位未満を四捨五入し、端数調整していないため、合計等と一致しないことがあります。

※数値は出納整理期間後の値です。

### 区民1人当たりの基金（預貯金）と区債（借金）

		平成13年度	平成28年度
基金（預貯金）	千代田区	128万円	174万円
区債（借金）	千代田区	39万円	1万円
	国（参考）	308万円	840万円

※国の借金額は、国債及び借入金並びに政府保証債務現在高（平成28年12月末現在）より算出。

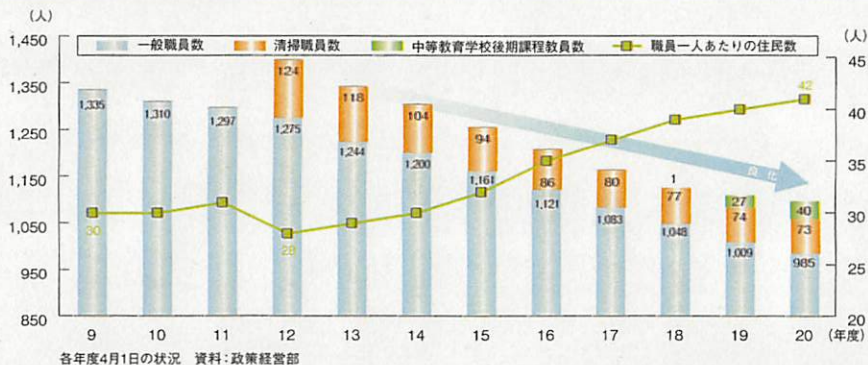
# 事業を支える 区の実行財政改革の取り組み

何かをするにはお金がかかります。区民の皆さんの生活を支え、安心を守るなどいろいろな取り組みをするためには、財政基盤がしっかりしていることが必要です。そのために、区は行財政改革に取り組んでいます。その状況を4つの視点で見ると・・・

状況の悪化を表します... → 状況の良化を表します...

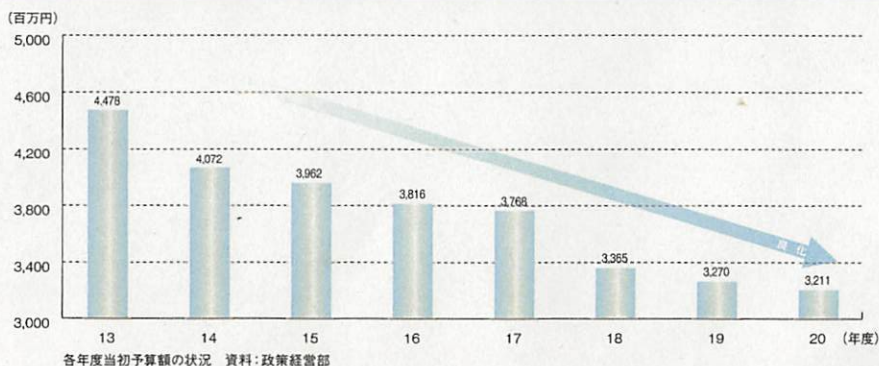
## 職員数の推移

仕事をするには人が必要ですが、人件費が財政を圧迫する状況は困ります。なぜなら、区民のための事業を行うゆとりが少なくなるからです。区の職員数は、清掃事業が東京都から区へ移管された平成12年4月には1,400名程度でした。その後、様々な工夫をした結果、現在の職員数は「九段中等教育学校の開校に伴う教員採用」による増要因があっても1,100人を下回りました。8年前は、28人の区民に対して1人の職員がいる状況でしたが、今は40人余りの区民に1人の職員という状況になっています。



## 施設の維持管理経費の推移

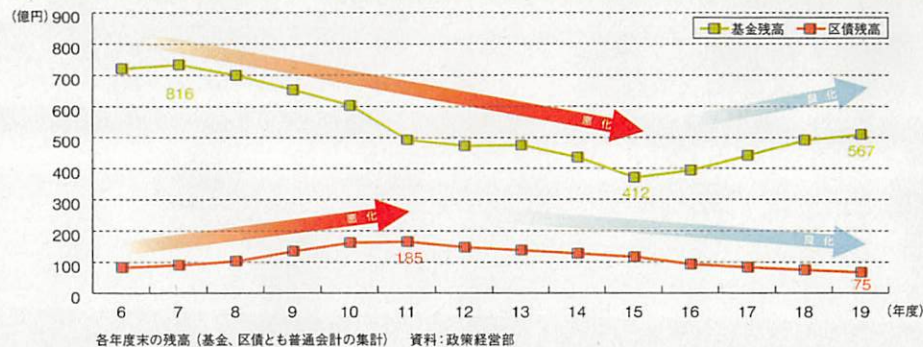
以前は、学校や庁舎などの施設を維持管理するための経費が区の財政を圧迫していました。指定管理者制度や民営化、委託化などの手法を取り入れることで、サービス内容を維持・向上させながら、効率的で無駄のない運営をした結果、経費が大幅に少なくなっています。



## 貯金(基金)と借金(区債)の推移

「基金」と「区債」は、一般家庭での「貯金」や「借金」にあたります。お金を借りれば一時的には手元に使えるお金が増えますが、それは返さなくてはなりません。たくさん借金をすればその返済に追われ、自由に使えるお金が少なくなるのと同じように、区債が多ければ、その返済のお金も多くなり、新たな施策に取り組みにくくなります。

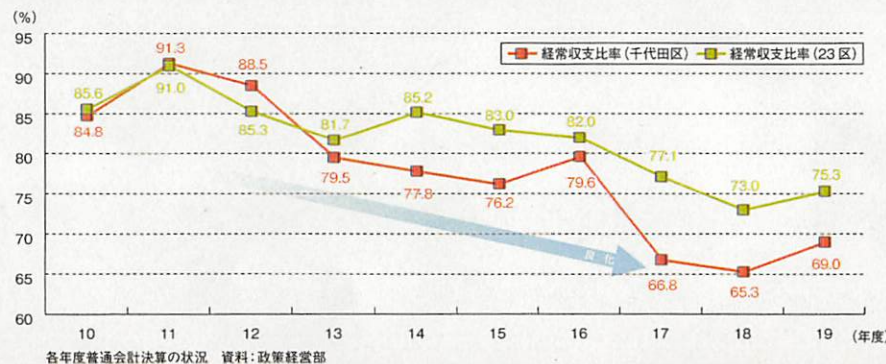
そのため、区では平成12年度以降は新規の区債を発行していません。



## 経常収支比率の推移

経常収支比率は、一般家庭にたとえると、食費、光熱水費、住居費などの日常生活にかかわる費用が、収入(月給など)の中でどのくらいの割合を占めているかを示す指標です。

この比率が高いほど、財政的に余裕がなくなり、区民の皆さんのニーズに応える新規事業などを実施することが難しくなります。



「千代田区はお金がたくさんある」「財政的に豊かだから新しい施策をやっている」と言われることがあります。何もしないで財政が豊かなわけではありません。少ない職員で効率的に仕事をするなど絶え間ない努力をして、その成果を新しいサービスに使っているのです。

区民に必要な仕事をするために、これからも継続して行財政改革に取り組み、安定した財政運営に努めていきます。